

お知らせ:次回発信日は1月18日週報(予定)

Jミルクが2023年9月29日に公表した「需給見通し(※2023年8月迄実績)」の予測値と実績(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「能登半島地震により、被災されましたすべての方々に心からお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご家族や関係者の皆さまにお悔やみ申し上げます。」

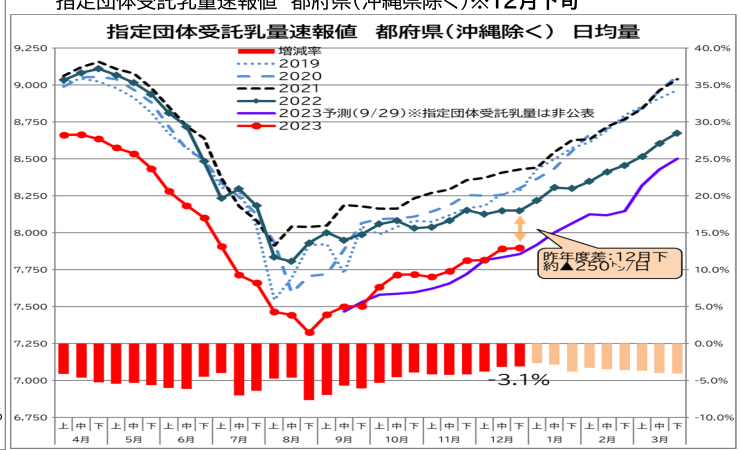
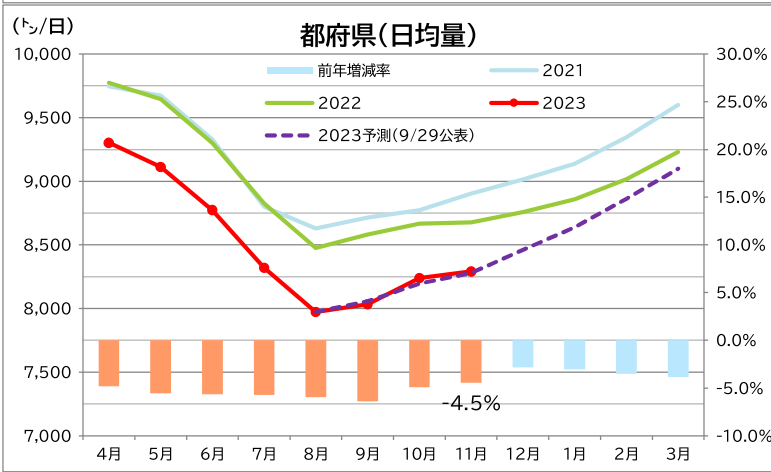
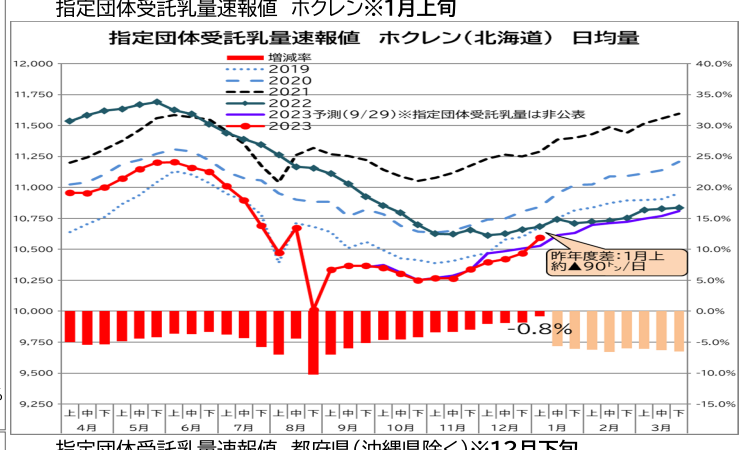
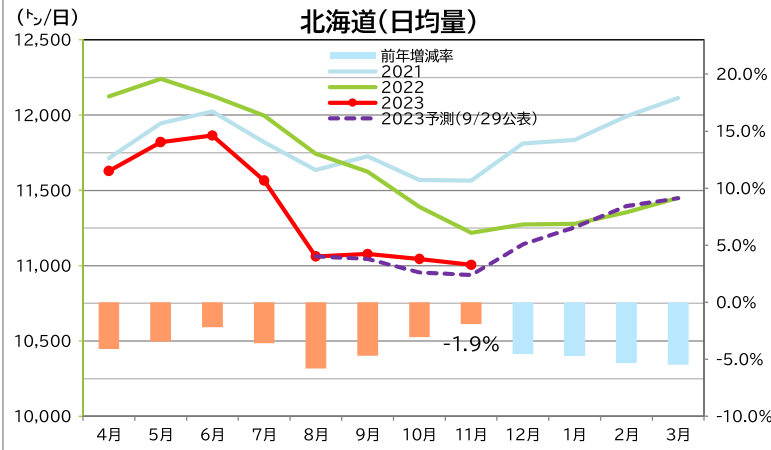
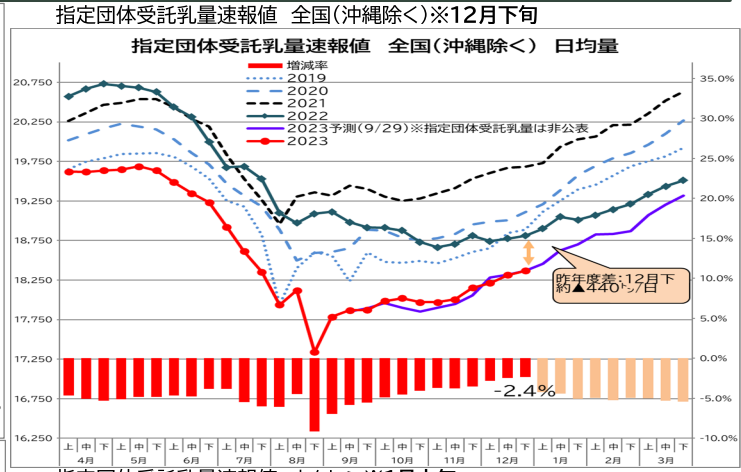
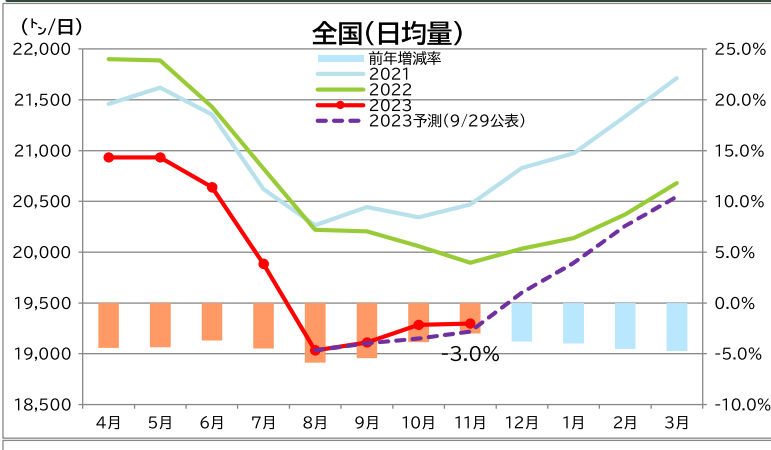
- ・11月の生乳需給実績について、これまでの傾向と変化なく飲用等向は前年を下回る▲2.0%となったが、生乳生産量は全国で▲3.0%となったことから、乳製品向は前年を下回る▲4.3%となった。全国指定団体受託乳量(速報)では、生産抑制の効果により前年下期から生産量が大きく減少した反動や今年度の粗飼料の出来等によって、12月下旬(最新)の全国で▲2.4%と今年度最も減少率が小さくなった。特に北海道(ホクレン)では、1月上旬に▲0.8%まで回復し、概ね前年並みの水準となっている。
- ・脱脂粉乳とバターは、両品目ともに出荷り量よりも乳製品向仕向量減少に伴う脱脂粉乳とバターの生産量減少が大きく、在庫量は前月よりも減少した。なお、脱脂粉乳は全国協調の在庫削減対策が出荷り量を一定程度押し上げている効果が続いている。バターは、前年を下回る出荷り量(推定)となっているが、国内旅行者やインバウンドの回復等により業務用を中心とした需要は堅調に推移すると予測される一方、12月の取引乳価引き上げに伴う製品価格改定が順次進むことから、今後の消費動向に注視しつつ安定的な製品供給に努める必要がある。
- ・年末年始の牛乳類、はっ酵乳類、バターの販売動向(週次)は、小売流通の休業日が多い1/1を含む週が曜日の関係で前年とズレが生じている。そのため前年との比較では12/25週は高く、1/1週は低く算出される結果となっているが、年末年始の2週を合計した同期間の前年比では、概ねこれまでの傾向と変わらない推移となっている(牛乳類トータル:95.8%等)。
- ・例年同様に直近の3連休を含めた年末年始の需給緩和による生乳処理は予断を許さない状況であったものの、業界内外で進める消費拡大に取り組みつつ、乳製品処理や需給調整体制の事前準備などが奏功し、全国的な需給調整で大きな混乱があったとの情報は入っていない。今後は、年度末に再び厳しい需給緩和が想定されるため、引き続き業界内外で一丸となった消費拡大や理解醸成活動、需給調整体制の事前準備等、需給の混乱回避に向けた取り組みを進める必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)11月の生乳生産量は、全国578.9千ト(前年同月比97.0%)、北海道330.2千ト(同98.1%)、都府県248.8千ト(同95.5%)。

(2)Jミルク予測値(全国576.6千ト、北海道328.2千ト、都府県248.4千ト)との比較は、北海道が上振れたことで、全国でも上振れとなった。

(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が12月下旬で同97.6%、都府県(沖縄除く)が同96.9%、北海道は1月上旬で99.2%となった。

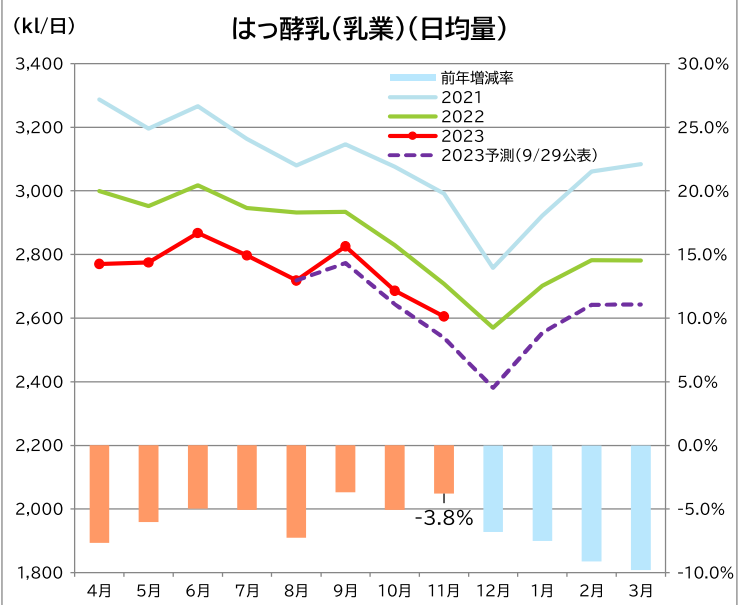
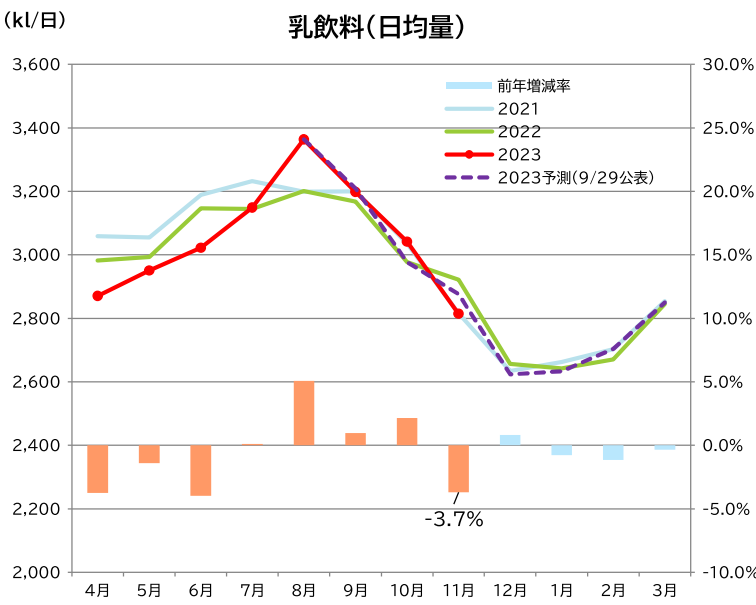
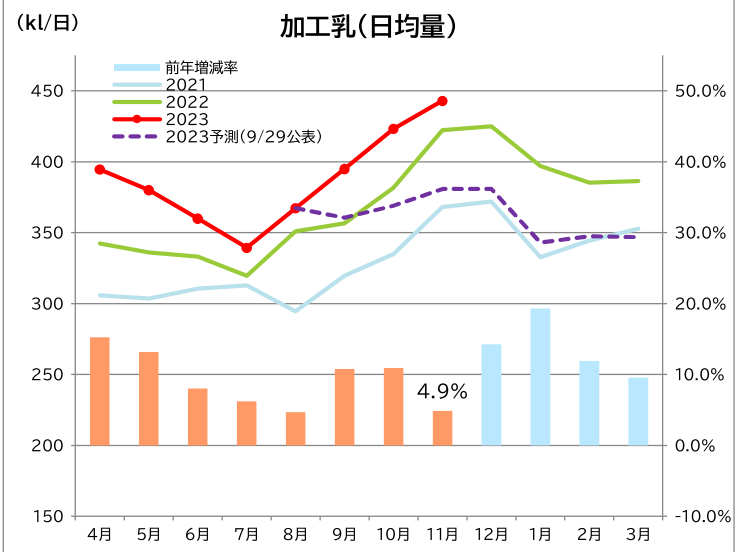
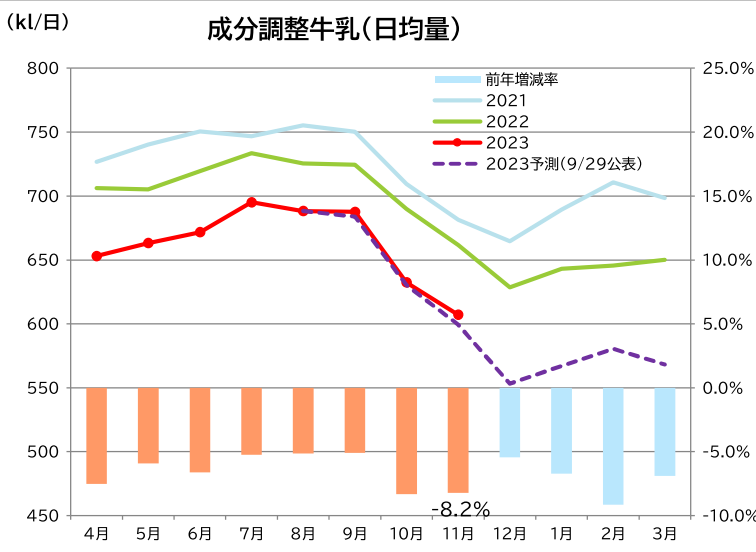
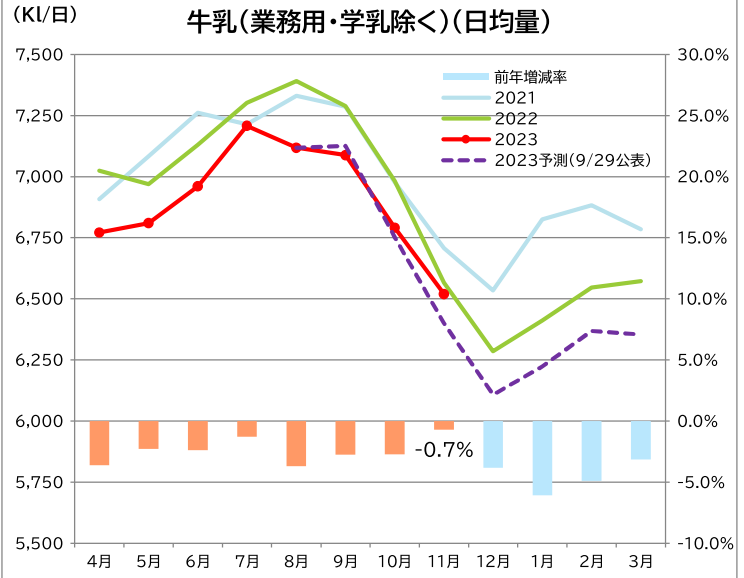
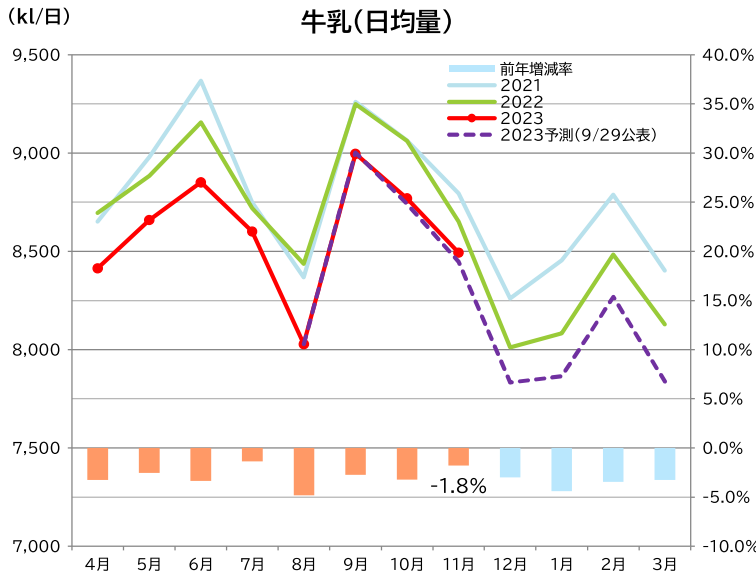


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)11月の牛乳等生産量は、牛乳254.8千kl(前年同月比98.2%)、成分調整牛乳18.2千kl(同91.8%)、加工乳13.3千kl(同104.9%)、乳飲料84.4千kl(同96.3%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、370.7千kl(同97.6%)となり、12ヶ月連続で前年を下回っている。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.3%、「業務用」は同91.7%、「学乳」は97.1%。

(3)はっ酵乳(乳業)は78.2千kl(同96.2%)と前年を下回って推移している。はっ酵乳(非乳業:10月実績)は101.8%となった。

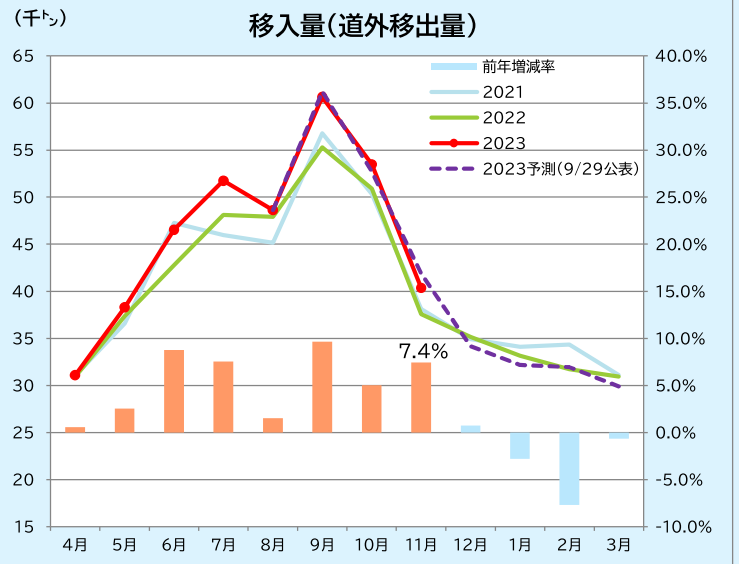
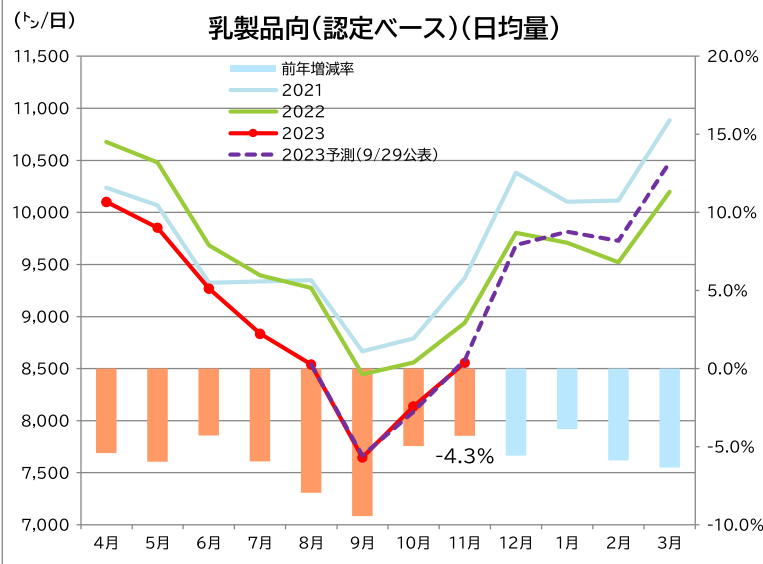
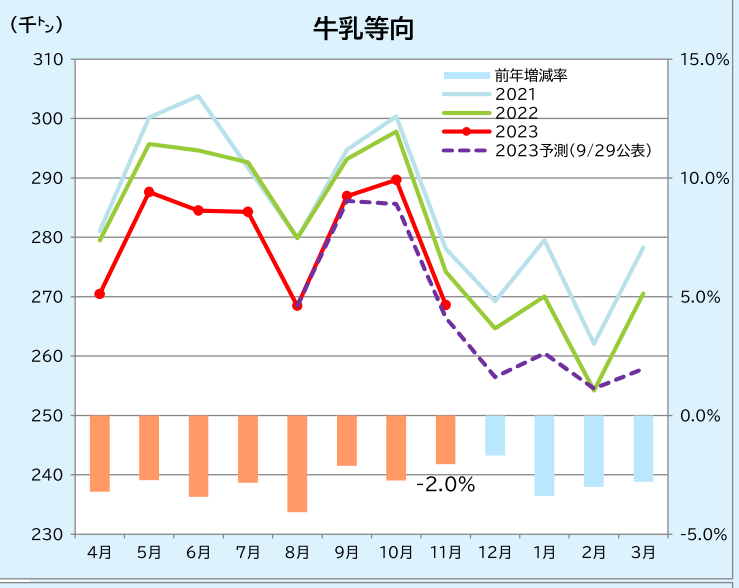
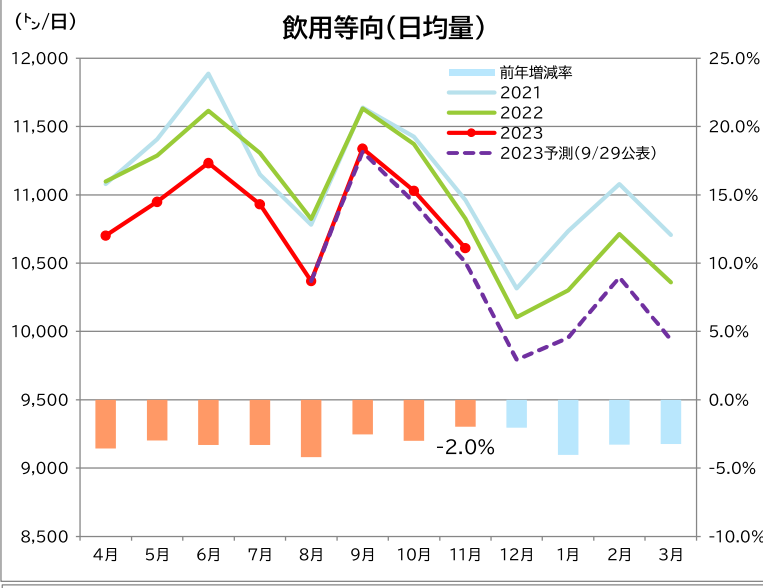
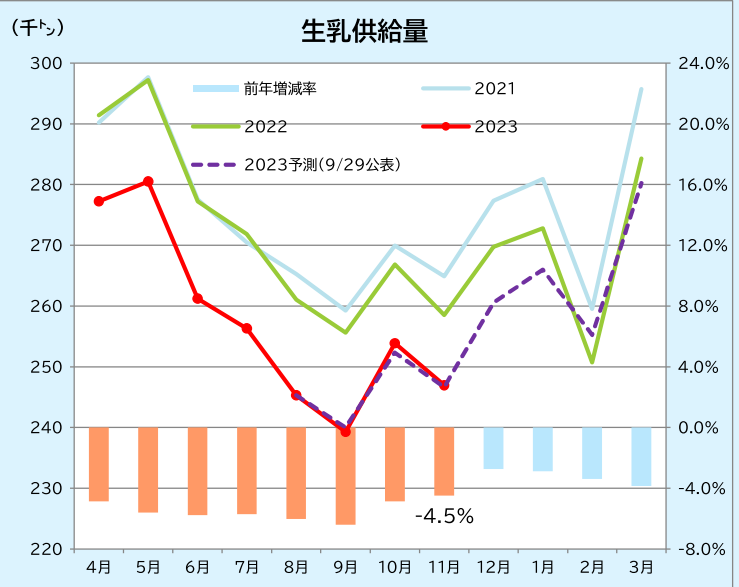
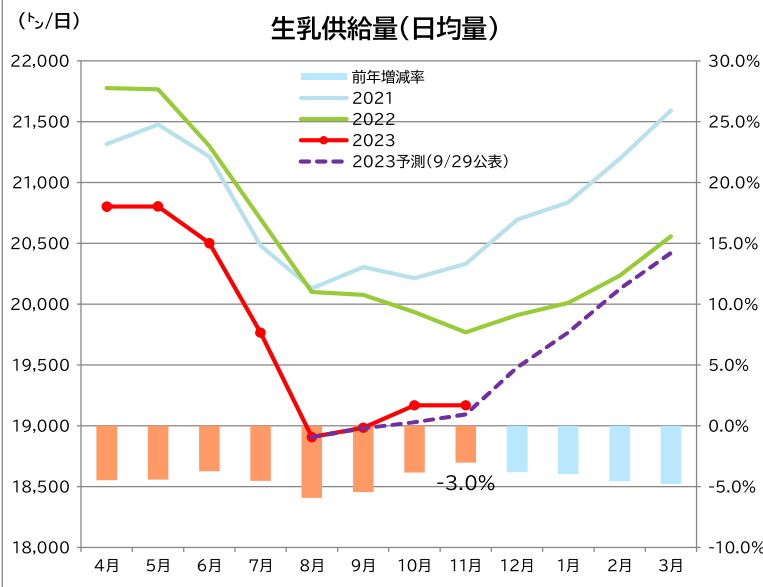


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)11月の生乳供給量は575.1千ト(前年同月比97.0%)、飲用等向318.3千ト(同98.0%)、乳製品向(認定ベース)256.7千ト(同95.7%)。
 (2)飲用等向、生乳供給量ともに前年を下回ったが、生乳供給量の減少量の方が大きく、乳製品向は前年を下回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:572.8千ト)は上振れ、飲用等向(予測値:315.2千ト)も上振れし、結果乳製品向(予測値:257.6千ト)は予測値水準となった。

【都府県の生乳需給】

(1)11月は、生乳供給量247.0千ト(前年同月比95.5%)、牛乳等向268.6千ト(同98.0%)。
 (2)北海道からの移入量については、40.4千ト(同107.4%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:246.7千ト)は予測値水準、牛乳等向(予測値:266.5千ト)はやや上振れしたものの、北海道からの移入量(予測値:41.9千ト)わずかに下振れとなった。



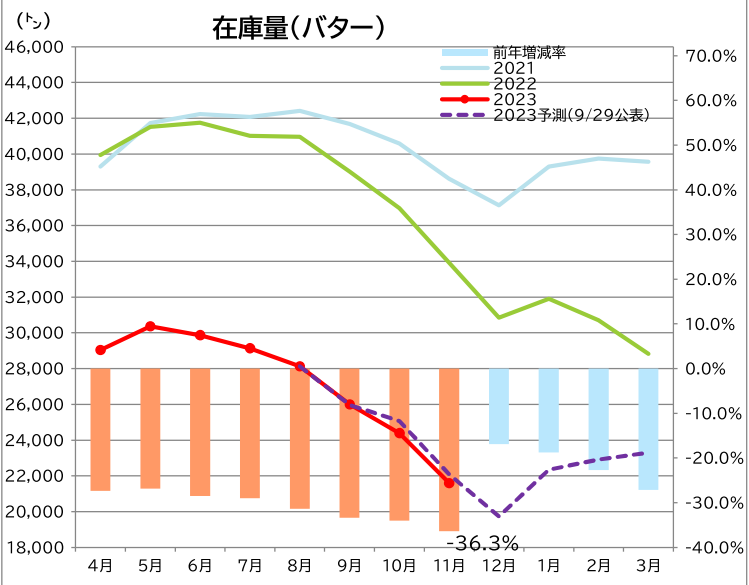
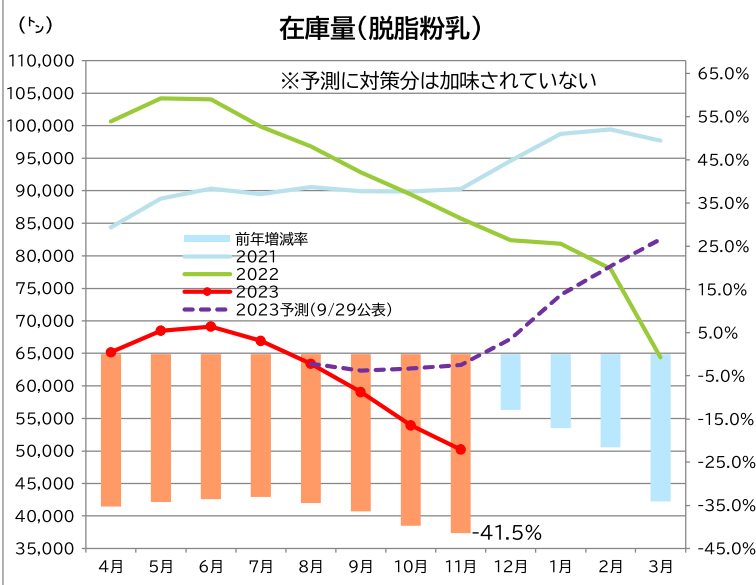
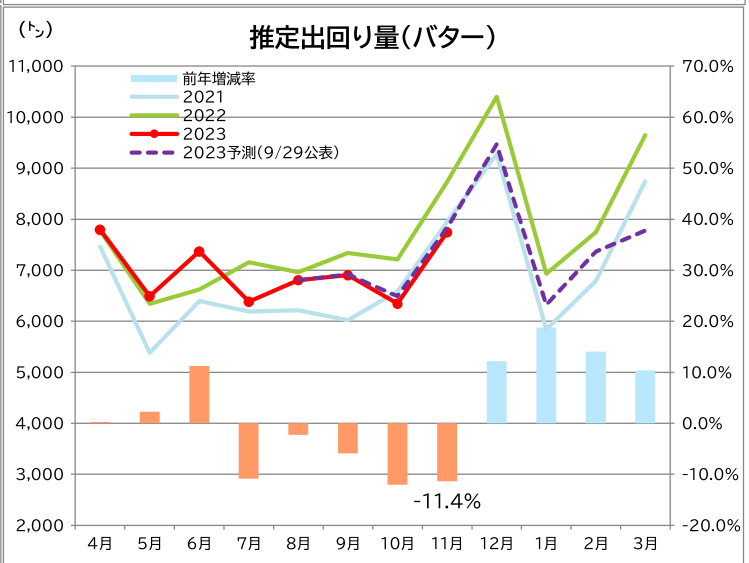
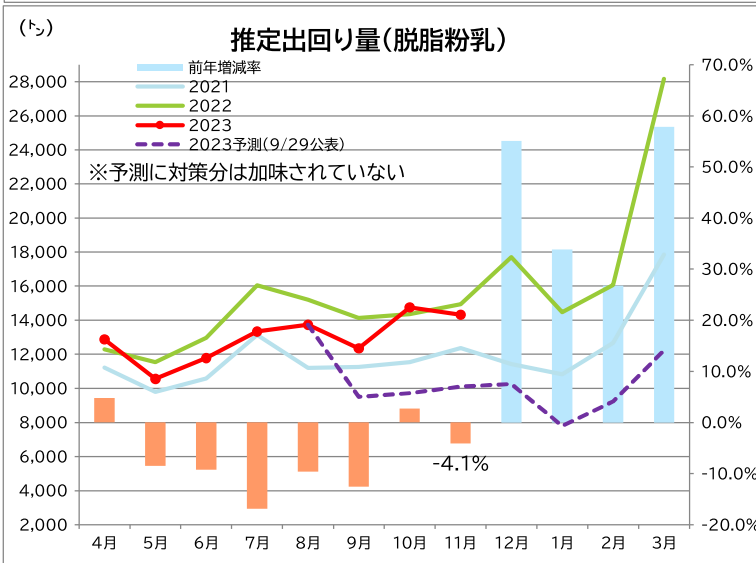
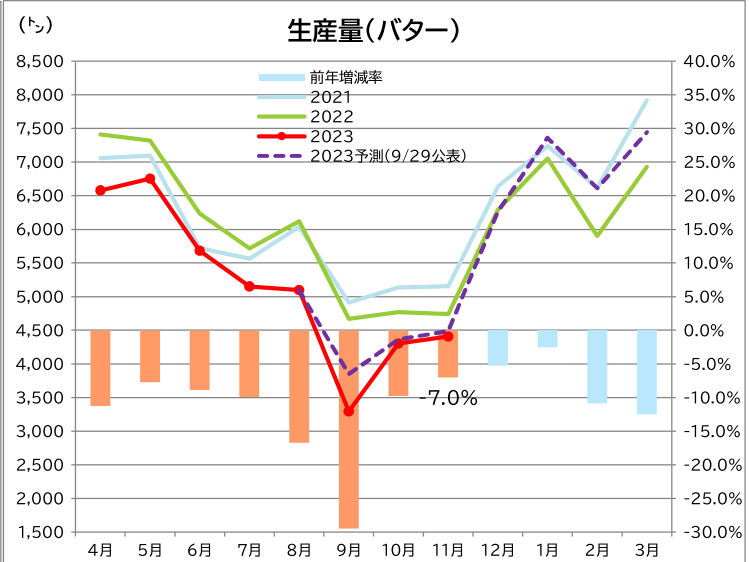
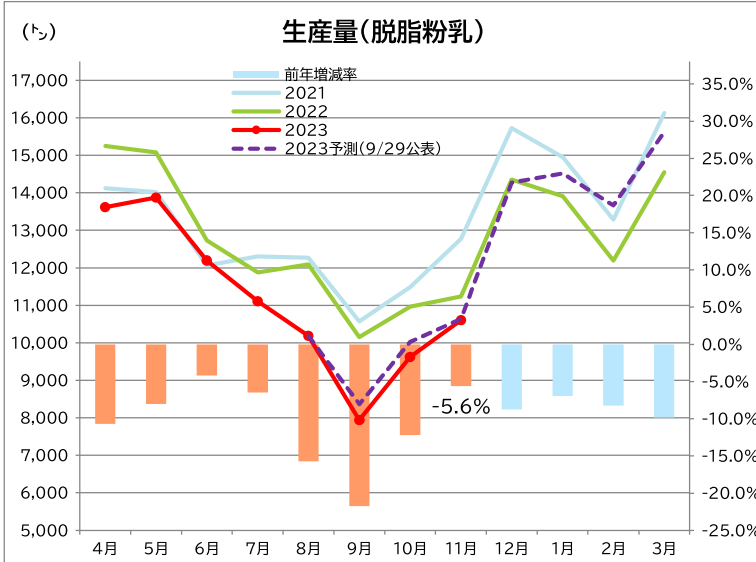
【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について、11月の生産量は10.6千ト(前年同月比94.4%)、推定出回り量は14.3千ト(同95.9%)となった。出回り量の方が生産量を上回ったことで、在庫は前月よりも3.7千ト程度減少し、結果在庫量は50.2千ト(同58.5%)となった。在庫量は生産抑制の効果による脱バ仕向量の減少や在庫対策削減効果により、2018年11月以来、約5年振りに5万ト台となったが、3ヶ月連続で維持している。

※なお、推定出回り量の実績には在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、11月の生産量は4.4千ト(同93.0%)、推定出回り量は7.7千ト(同88.6%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約0.5千ト(11月))を考慮しても、出回り量が生産量を回っていることから、在庫量は21.6千ト(同63.7%)と前月よりも2.8千ト減少した。在庫量は19ヶ月連続で前年を下回っている。

▶脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、冬期に向けて飲用需要が減少、生産量が増加することにより脱バ等の仕向量は増加する。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図るとともに、全国協調の在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限取り進める必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)12月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比96.9%、成分調整牛乳:同82.5%、加工乳:同102.6%、乳飲料:同97.6%。牛乳類全体:同96.1%

【参考】2021年12月比…牛乳:92.1%、成分調整牛乳:76.8%、加工乳:101.0%、乳飲料:101.4%(牛乳類トータル:92.4%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・前年の週次データ(月～日)は12/26週、1/2週であり、実績が大きく減少する1/1がどちらの週に含まれるかで週次の前年比が大きく変動する。年末年始の2週を合計した前年比では、牛乳:前年同月比96.6%、成分調整牛乳:同82.5%、加工乳:同104.5%、乳飲料:同97.1%。牛乳類全体:同95.8%

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

単位:千個、円

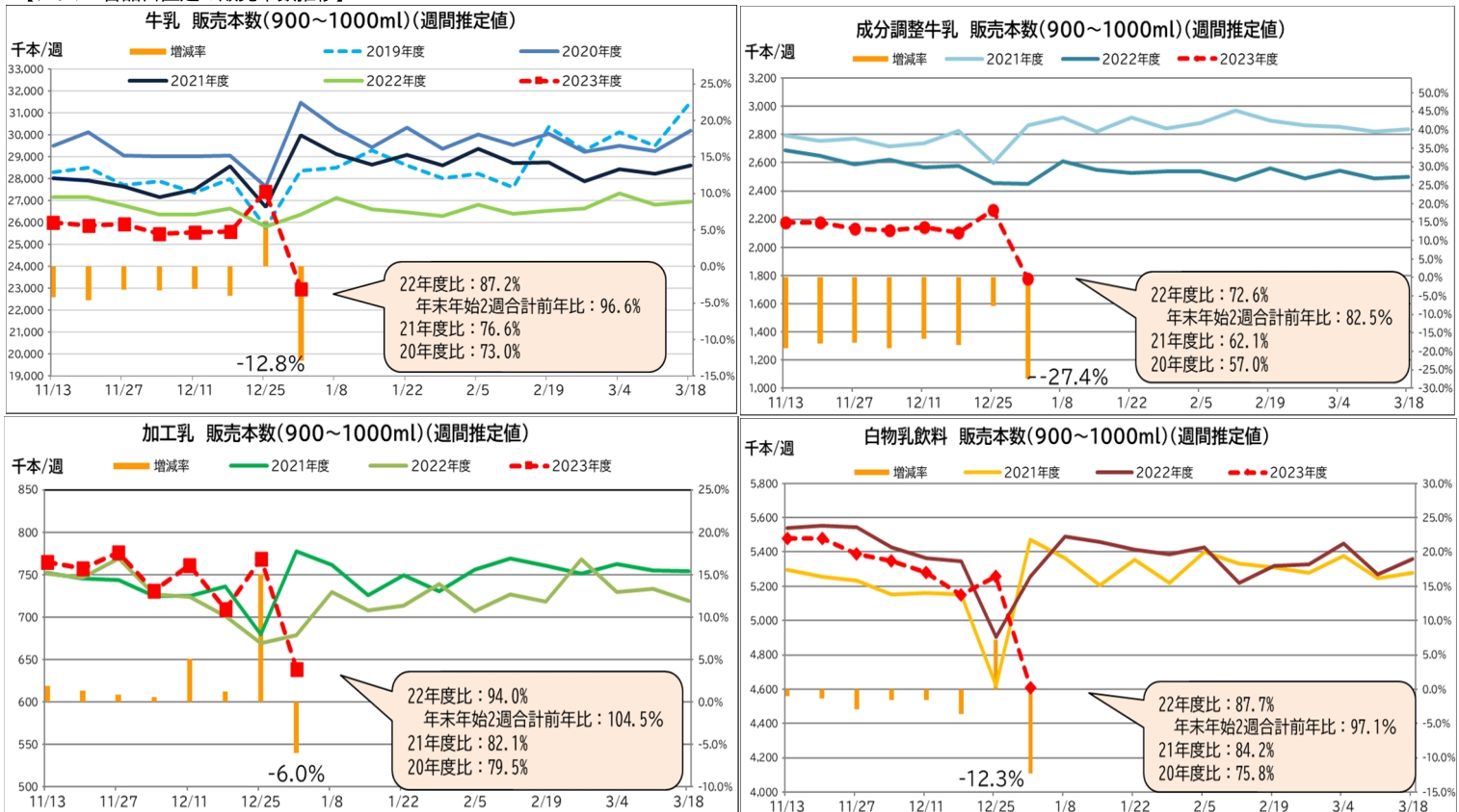
【表① 牛乳類の月別販売動向】

| 品目 | 区分 | 2023/7- | 2023/8- | 2023/9- | 2023/10- | 2023/11- | 2023/12- | 2023/12- 2022/10価格差 | 2023/12- 2023/3価格差 | 2023/12- 2023/7価格差 |
|--------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| | | 販売個数 | 177,261 | 176,857 | 170,015 | 163,442 | 148,761 | 152,434 | | |
| トータル | 販売個数前年比 | 95.1 | 94.8 | 97.1 | 95.8 | 96.0 | 96.1 | 33.8 | 18.7 | 16.9 |
| | 販売単価 | 200.0 | 215.3 | 217.1 | 216.6 | 216.7 | 216.9 | | | |
| 牛乳 | 販売個数 | 135,715 | 134,379 | 128,266 | 123,258 | 112,222 | 116,060 | | | |
| | 販売個数前年比 | 95.4 | 94.1 | 96.4 | 95.1 | 96.4 | 96.9 | 35.9 | 19.6 | 18.8 |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 11,981 | 11,504 | 10,913 | 10,417 | 9,441 | 9,602 | | | |
| | 販売個数前年比 | 87.1 | 83.6 | 81.8 | 80.7 | 81.7 | 82.5 | 35.3 | 19.6 | 16.1 |
| 加工乳 | 販売個数 | 3,502 | 3,555 | 3,593 | 3,652 | 3,297 | 3,333 | | | |
| | 販売個数前年比 | 92.6 | 94.6 | 100.1 | 105.3 | 102.8 | 102.6 | 28.3 | 18.6 | 7.6 |
| 乳飲料 | 販売個数 | 26,063 | 27,419 | 27,243 | 26,115 | 23,801 | 23,439 | | | |
| | 販売個数前年比 | 98.2 | 104.3 | 108.1 | 106.0 | 100.2 | 97.6 | 24.8 | 14.2 | 10.5 |
| | 販売単価 | 163.8 | 172.8 | 173.7 | 173.5 | 173.6 | 174.3 | | | |

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

| 品目 | 区分 | 11.13- | 11.20- | 11.27- | 12.4- | 12.11- | 12.18- | 12.25- | 1.1- | 24.1.1- 22.10.24 価格差 | 24.1.1- 23.3.20 価格差 | 24.1.1- 23.7.24 価格差 |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | 販売個数 | 34,438 | 34,300 | 34,241 | 33,693 | 33,751 | 33,569 | 35,700 | 30,002 | | |
| トータル | 販売個数前年比 | 95.3 | 95.0 | 96.0 | 95.8 | 96.3 | 95.1 | 105.5 | 86.3 | 34.6 | 19.7 | 17.3 |
| | 販売単価 | 216.6 | 216.5 | 216.2 | 216.3 | 216.5 | 217.1 | 218.1 | 217.8 | | | |
| 牛乳 | 販売個数 | 26,019 | 25,888 | 25,945 | 25,491 | 25,569 | 25,603 | 27,408 | 22,976 | | | |
| | 販売個数前年比 | 95.8 | 95.4 | 96.9 | 96.6 | 96.9 | 96.0 | 106.2 | 87.2 | 37.0 | 20.7 | 19.5 |
| 成分調整牛乳 | 販売個数 | 2,174 | 2,176 | 2,130 | 2,121 | 2,140 | 2,106 | 2,267 | 1,779 | | | |
| | 販売個数前年比 | 80.9 | 82.1 | 82.3 | 80.9 | 83.4 | 81.7 | 92.3 | 72.6 | 35.2 | 20.3 | 15.7 |
| 加工乳 | 販売個数 | 765 | 757 | 776 | 731 | 761 | 709 | 769 | 639 | | | |
| | 販売個数前年比 | 101.9 | 101.3 | 100.9 | 100.5 | 105.2 | 101.2 | 114.9 | 94.0 | 28.4 | 18.1 | 7.5 |
| 乳飲料 | 販売個数 | 5,480 | 5,479 | 5,390 | 5,350 | 5,281 | 5,151 | 5,257 | 4,608 | | | |
| | 販売個数前年比 | 98.9 | 98.7 | 97.2 | 98.6 | 98.4 | 96.3 | 107.2 | 87.7 | 23.8 | 14.0 | 9.3 |
| | 販売単価 | 173.7 | 173.2 | 173.5 | 173.6 | 174.2 | 174.4 | 175.2 | 173.5 | | | |

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

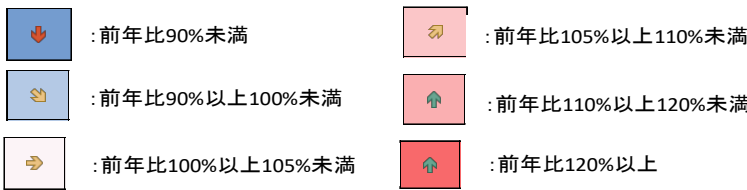
(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(1/1週)の販売個数は、ドリンクタイプ前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%未満、大容量タイプ(350~500ml):同90%未満。前年の週次データ(月~日)は12/26週、1/2週であり、販売個数が大きく減少する1/1がどちらの週に含まれるかで週次の前年比が大きく変動する。年末年始の2週を合計した前年比では、ドリンクタイプ:前年同期比90%未満、個食タイプ:同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上となった。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

単位:千個

| 品目 | 11.13- | 11.20- | 11.27- | 12.4- | 12.11- | 12.18- | 12.25- | 1.1- |
|---------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|------|
| ドリンクタイプ | ↓ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↓ | ↘ | ↓ |
| 個食タイプ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | → | ↓ |
| 大容量タイプ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↘ | ↓ |



※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

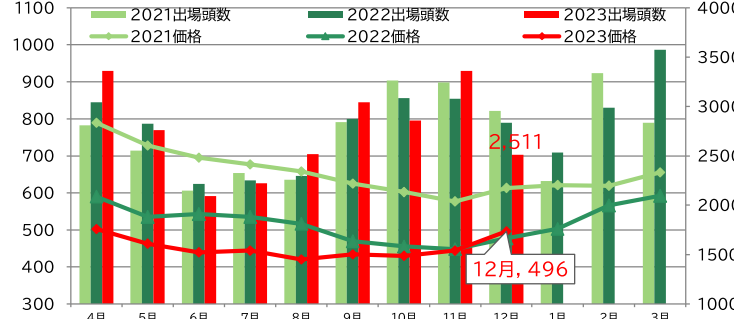
【家畜販売価格動向(税込)】

(1)12月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は496千円(前年同期比104.0%)、育成牛価格は276千円(同152.5%)、和牛素牛(去勢)価格は666千円(同92.5%)、F1素牛(去勢)価格は395千円(同103.9%)、F1初生(雄)価格は76千円(同106.0%)。初妊牛8ヶ月連続で40万円台となっている。育成牛は4か月連続で前年を上回った。F1初生(雄)は5ヶ月連続で10万円を下回った。ホル初生(雄)価格は54千円(同329.4%)となった(グラフ無し)。

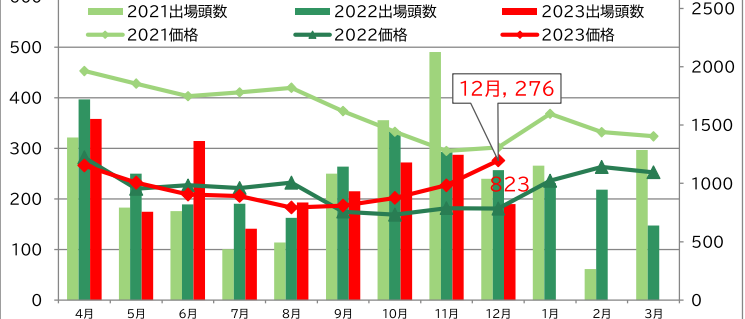
(2)出場頭数(出荷り頭数)は、初妊牛:同88.5%、育成牛:同74.0%、和牛素牛(去勢):同108.4%、F1素牛(去勢):同127.3%、F1初生(雄):同104.4%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

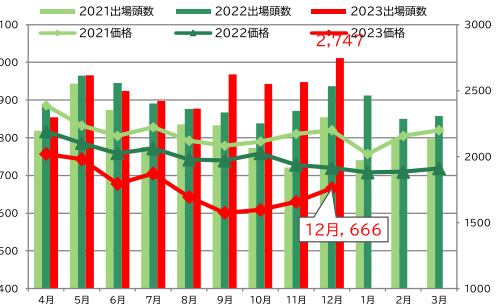
ホクレン家畜市場 成績一覧表(初妊牛)



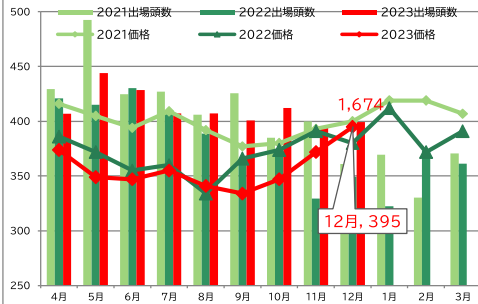
ホクレン家畜市場 成績一覧表(育成牛)



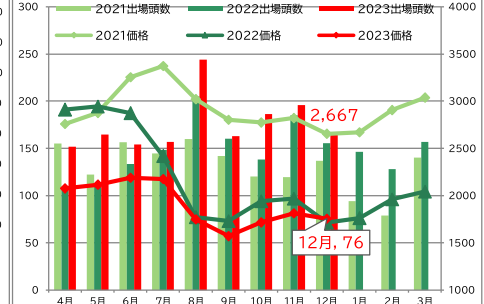
ホクレン家畜市場 成績一覧表(黒毛素牛 去勢)



ホクレン家畜市場 成績一覧表(F1素牛 去勢)

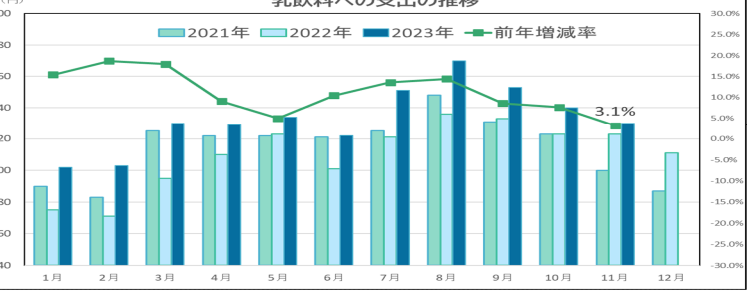
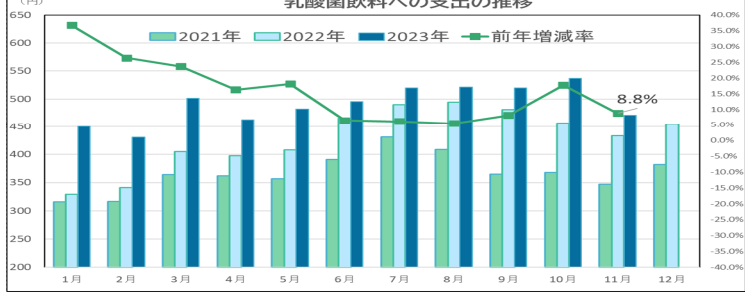
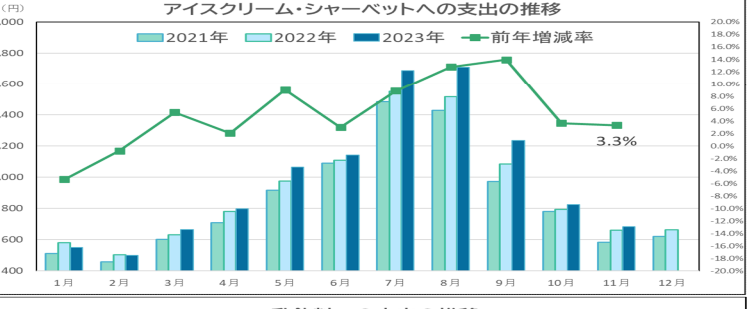
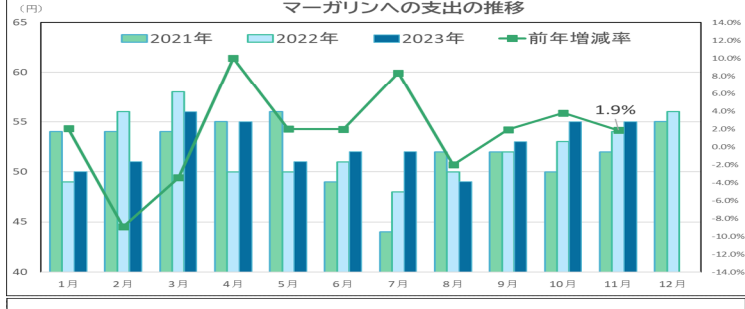
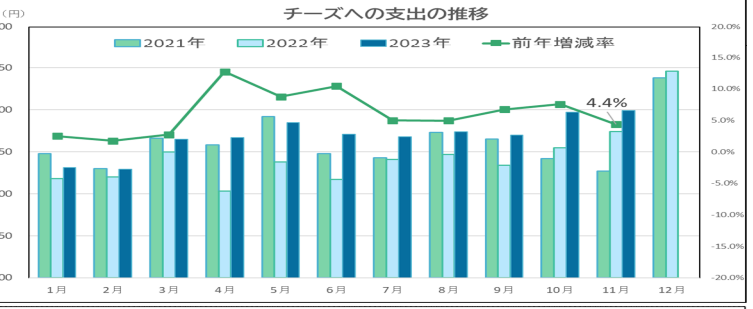
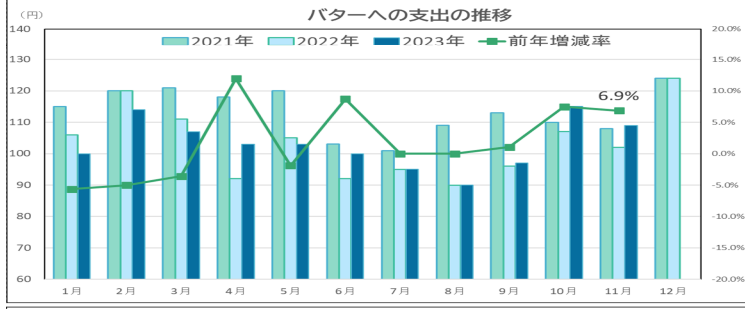
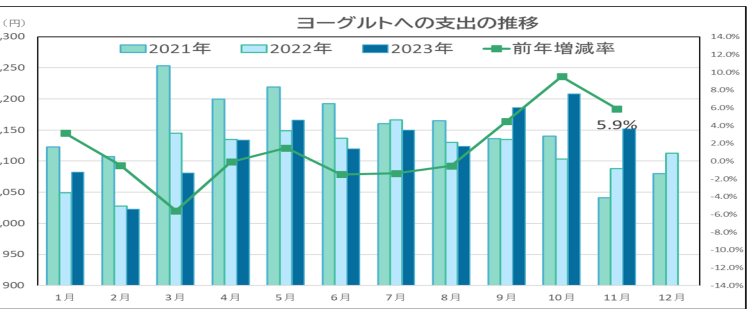
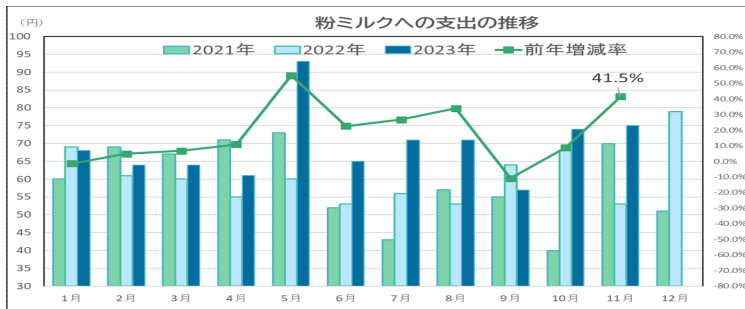
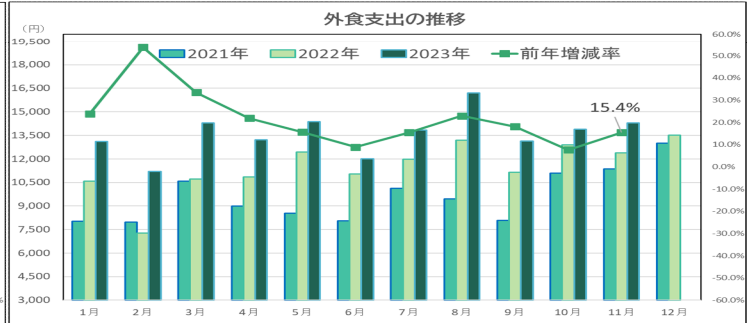
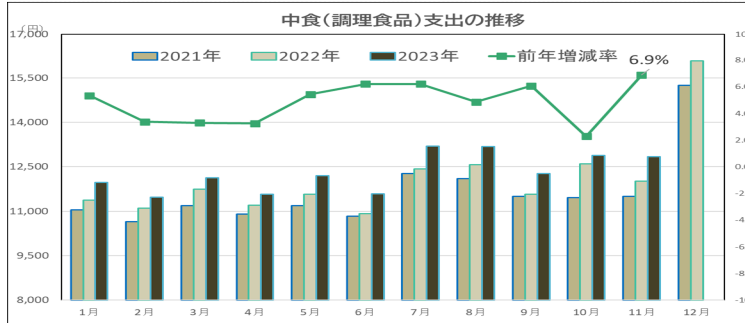
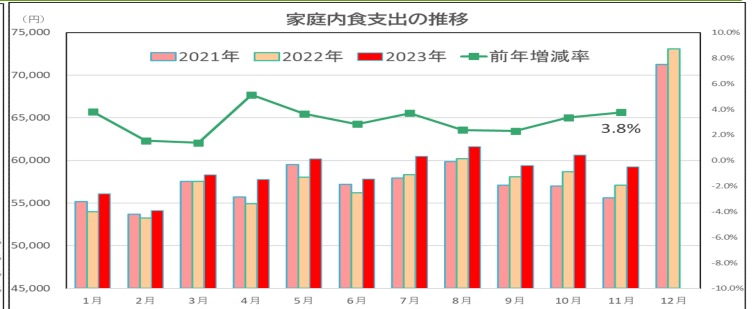
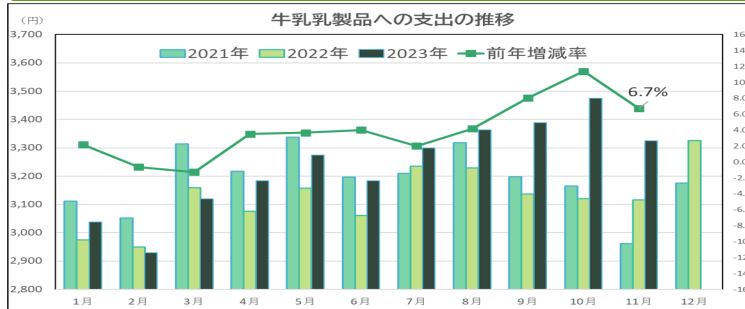


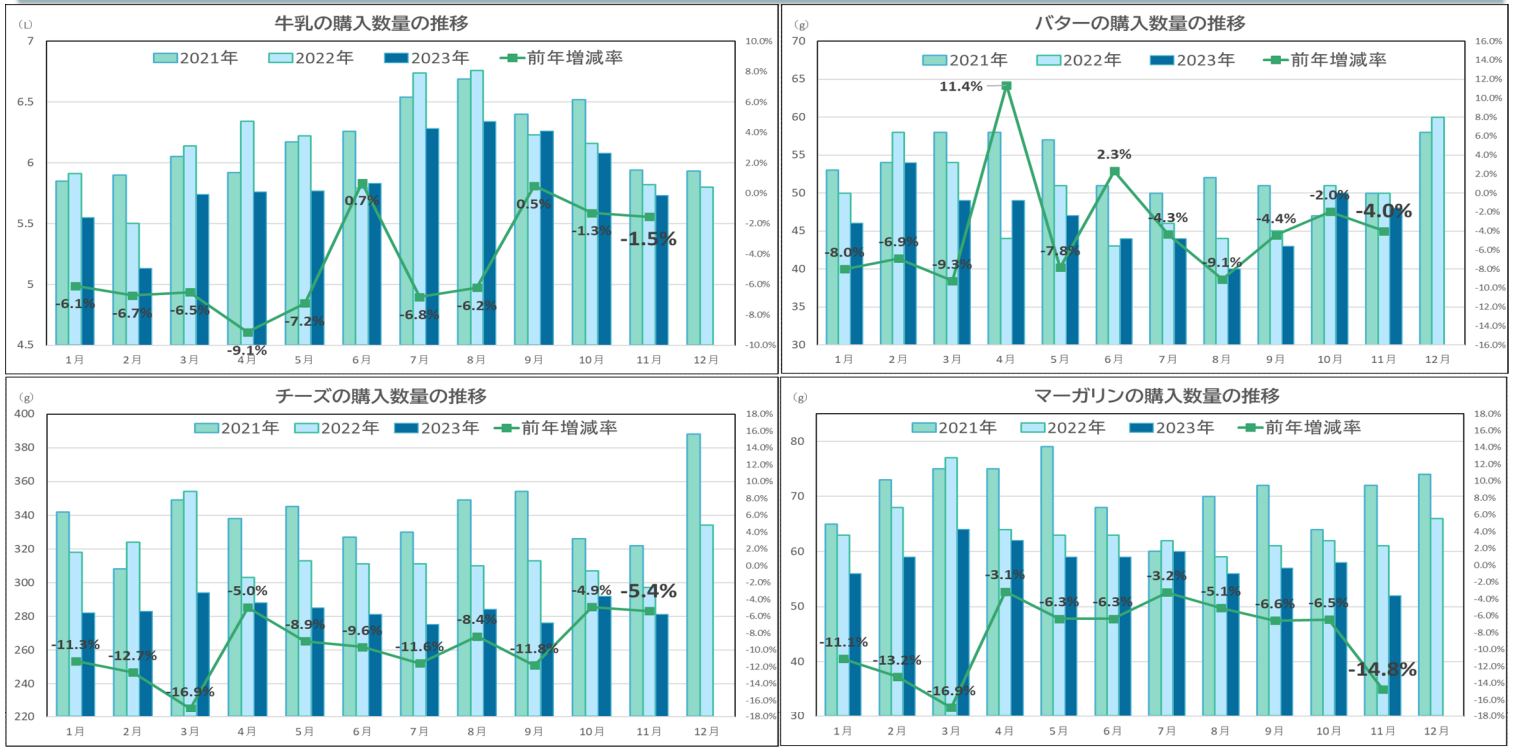
ホクレン家畜市場 成績一覧表(初生とく F1雄)



【家計支出の動向】

- (1)11月の支出額前年比について、外食115.4%、中食106.9%、内食103.8%と前年を上回り、食料全体への支出額は106.0%となった。
 - (2)牛乳乳製品の支出額については、前年を大きく上回った。(牛乳乳製品全体前年比:106.7%、(うち牛乳107.3%、乳製品106.3%))
 - (3)なお、購入量は、牛乳98.5%(1世帯当たり5.73L)と2ヶ月連続で前年を下回った。バター、チーズ、マーガリンについても前年を下回る結果となった。
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)





【乳製品輸出価格の動向】

(1) 直近の乳製品国際相場について(1月上旬)

- ・欧州: 脱脂粉乳2,900ドル/ト、バター6,050ドル/ト中心
- ・オセアニア: 脱脂粉乳2,600ドル/ト、バター5,550ドル/ト、チェダーチーズは4,150ドル/ト中心

※出典: 米国農務省 (USDA)

